別紙１

令和６年度エコマネジメント長野　内部環境監査の実施結果

実施概要

１　監査対象

・地域ごと、管内の被監査箇所（別紙１）から、監査を実施する所属を概ね３分の１程度選定。(選定は、各エコマネジメント長野合庁事務局とエコマネジメント長野推進事務局が行う。)

・選定に当たっては、所属の特性や実情を踏まえ、管内でできるだけバランスが取れるように選定。

①環境負荷の大きい所属（試験研究機関等）
②庁舎管理担当課（財産活用課、総務管理課等）
③単独現地機関
④高等学校
⑤庁舎入居機関など

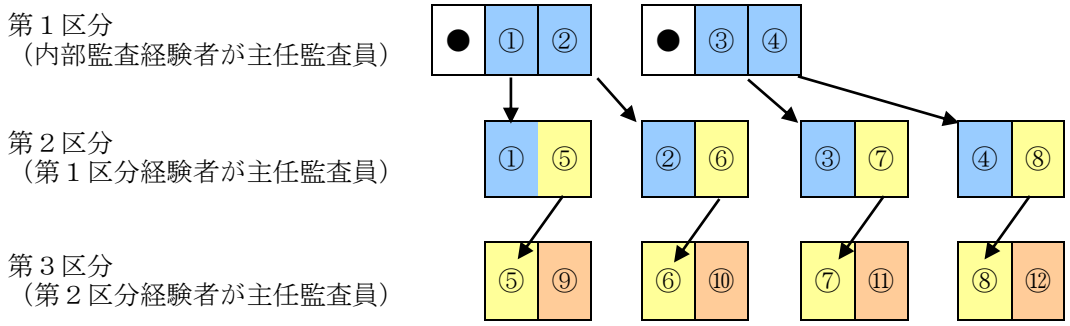
２　実施方法

・内部環境監査員の力量向上、監査の効果的実施のため、監査を段階的に実施（第１区分の監査員が第２区分の主任監査員になる等のチーム編成による)。

・さらに、監査の第１区分に外部環境監査人（環境マネジメントシステム審査人）が参加し、その指導、教育の基に監査を実施（１地域２箇所程度)。

第１区分：内部監査経験者が主任監査員となり、チームを編成（外部環境監査人が参加）
第２区分：第１区分経験者が主任監査員となり、チームを編成
第３区分：第２区分経験者が主任監査員となり、チームを編成

【実施例（１チーム２人体制)】（●：外部環境監査人、①～⑫：内部環境監査員）



３　監査期間

令和６年 11 月 18 日～令和７年１月 23 日

４　監査項目

チェックリスト（様式 U2）及び判定フローチャート（監査基準）に基づき監査を実施。

実施結果

1　判定事項

・監査実施所属 92 所属（うち外部環境監査人が参加した監査 20 所属）
・「優良」147 件、「指導」52 件、「指摘」13 件

外部環境監査人が参加した監査所属

地域	被監査所属	外部環境監査人
佐久	野沢南高等学校	秋山　憲司
	佐久地域振興局総務管理課	
上田	工科短期大学校	高遠　祐一
	上田染谷丘高等学校	
諏訪	工業技術総合センター精密・電子・航空技術門	北條　敏彦
	下諏訪向陽高等学校	
上伊那	上伊那地域振興局総務管理課	小澤　弘延
	南信工科短期大学校	
南信州	飯田高等学校	中村　秋男
	阿南高等学校	
木曽	木曽養護学校	小澤　弘延
	木曽地域振興局総務管理・環境課	
松本	塩尻志学館高等学校	中村　秋男
	田川高等学校	
北アルプス	姫川砂防事務所	北條　敏彦
	北アルプス地域振興局総務管理・環境課	
長野	須坂建設事務所	北條　敏彦
	長野商業高等学校	
北信	下高井農林高等学校	新田　詔三
	北信保健福祉事務所	

２　主な優良事項（抜粋）

所属名	内　容
佐久地域振興局総務管理課	・中央管理室において庁舎の環境ファシリテーションを一元管理している。 ・設備投資による環境負荷の低減が計画されている。公用車の EV 化に向け現在 EV19 台を 53 台に増設予定（併せて充電ステーションを設置予定)。
上田染谷丘高等学校	・環境方針周知やコミュニケーションは教員用システム（タブレットでの Teams 使用）を活用して情報を周知・共有している。 ・生徒が断熱用フィルムを窓に貼付。探究学習で SDGs を題材として取組んでいる。 ・緊急事態発生時の連絡先に取引先業者以外の者も掲載。
工業技術総合センター精密・電子・航空技術門	・電気使用量についてデマンド装置の導入により三段階で対応できる体制としている。 ・新棟は省エネ設計・太陽光発電の導入により建築物のエネルギー効率化や環境負荷の軽減と快適性を実現した建物に与えられる ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー)認証を取得している。 ・新棟に太陽光発電を導入し、発電量と消費電量をモニターで視覚化し、既存の電力量に充当している。
上伊那地域振興局総務管理課	・節電への取組について庁舎内の改修工事により、トイレの人感センサーの設置（10 月)、電灯のＬＥＤ化（２月）等、率先的な取組を行っている。
阿南高等学校	・「信州ふるさとの道ふれあい事業（アダプトシステム)」を利用して通学路の清掃活動を行った（年２回)。 ・順次照明の LED 化を実施した。
木曽地域振興局総務管理・環境課	・方針、計画が職員にも外部の人にもわかりやすく掲示されている。 ・目標に対し、達成したもの、未達のものがわかりやすくまとめている。
塩尻志学館高等学校	・剪定木をチップ化している。 ・体育館の水銀灯を LED 化した。 ・職員会はペーパーレス化している。
北アルプス地域振興局総務管理・環境課	・電気使用量及びエネルギー使用量などについて令和４年度からの月次データを取り、グラフ化し取組みの達成状況の把握や評価などを行っている。 ・北アルプス地域振興局が独自ブログ「北アルプス COOL 便」を発信して県民や地域に環境への取組や情報を積極的に PR している。 ・庁舎管理委託業者についても「受託者の責務」としてエコマネジメント活動や環境への配慮について要請や研修を義務付けている。
須坂建設事務所	・独自の季刊誌「おらほだより」を刊行して建設業界や地域に環境への取組や情報を積極的に PR している。地域の道路環境整備に苗や種などの補助を行い地域活動と連携させている。 ・電気使用量削減などの環境活動について表やグラフ化して所内

	に掲示するとともにTeamsにて閲覧可能としている。 ・電気使用量など目標値が達成された状況においても、更に必要な取り組みとして目標値の見直しを図っている。 ・簾・ブラインドによる日よけ対策や養生材による冷気対策、雨水タンク利用による花壇の潅水利用など庁舎内で取組可能な活動を率先的に実践している。
下高井農林高等学校	・廃棄物（主に一般廃棄物）は各教室で細かく分別し、リサイクルできるものは再利用できるよう活動している。

３　主な指摘・指導事項

・高等学校等における産業廃棄物・危険物等が適正に管理・保管が行われていない。
・実効性のある緊急事態への対応手順が整備されていない。定期的な訓練が実施されていない。
・全職員における長野県職員率先実行計画に基づく取組の必要性に対する認識向上が必要。

４　実施結果の各所属への反映方法

・エコマネジメント長野における推進員研修及び一般職員研修について、受講管理及び実施方法の両面から見直し、全職員の意識の向上につなげます。
・令和７年度の長野県職員率先実行計画の見直し（予定）に伴い、より効果的な取組の進捗状況の「見える化」を図ります。
・指摘・指導事項の多い所属に関しては重点的に内部環境監査を実施し、取組状況の改善及び維持の確認を行います。